

ひょうご起業ゼミ 募集要項

主催：兵庫県産業労働部新産業課
運営事業者：株式会社ガイアックス

1. 実施背景・目的

スタートアップは、社会変化を先取りし、成長分野を牽引するとともに、ビジネスにより環境、教育、人権などの社会課題を解決する重要な主体の一つです。

このため兵庫県では、起業家が集う場づくり、資金支援、成長支援、人材育成に取り組んできました。特に、令和2年7月に大阪・京都と共に「スタートアップ・エコシステム拠点 グローバル拠点都市」（内閣府）へ選定されたことを機に、起業プラザひょうごの機能強化、ひょうご神戸スタートアップファンドの創設、SDGs課題解決を目指すスタートアップの成長支援など、その取組を強化しています。

将来の職業選択に起業を視野に入れる人の数は少ないのが現状です。兵庫県では、起業家の裾野を拡大するため、中高生を対象に、自ら課題を発見し、解決策を考える実践型教育プログラムとして若者起業人材育成事業を令和4年度から展開しています。

本業務では、県内の中学校・高校などに、各学校の事情に応じてアントレプレナーシップ教育プログラムを導入する（※）ことで、起業を将来の選択肢に取り入れ、社会課題解決に主体的に取り組む人材の育成を図ります。

社会を少しでも良くしたいという意識と行動がイノベーションと活力をもたらします。本プログラムを通じて、兵庫から、社会をリードする若者を育成していきます。

今年度からは、ビジネスアイデアをブラッシュアップし、試作品を活用したアイデアの検証方法を学ぶことを目的に、「アイデア検証コース」も創設しました。

つきましては、本プログラムを導入いただける学校を募集いたしますので、奮ってご応募いただけますと幸いです。

※本業務では日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」や兵庫県・大阪府主催「スタートアップチャレンジ甲子園」に応募する高校生を対象とした短期プログラムも開催します。

2. 募集対象

項目	詳細
学校種	中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校（1～3年生）
エリア	兵庫県全域（摂津（神戸阪神）・播磨・但馬・丹波・淡路）

3. プログラム内容

項目	詳細	
プログラム ・コース名 ※どちらか一方を 選択ください	ひょうご起業ゼミ 「アイデア発想コース」	〈新設〉 ひょうご起業ゼミ 「アイデア検証コース」
概要	世の中にどのような社会課題があるかを知り、情報収集を通じて解決策（商品・サービス）を考案。最後はプレゼンテーションにも挑戦する6時間完結のプログラム	講師とのディスカッションを通じてビジネスアイデアをブラッシュアップ。試作品を活用したアイデアの検証手法を学ぶ6時間完結のプログラム
目的・ゴール	・社会課題および起業に対する関心を深める ・社会課題の解決手法および起業アイデアの構築方法を習得する ・ビジネスコンテストに提出可能なビジネスアイデアを1つ創出する	・自身のビジネスアイデアを洗練させる ・自身のビジネスアイデアの価値を検証する ・ビジネスコンテストへのエントリーと入賞
おすすめな学校	・総合的な学習の時間や総合的な探究の時間で、生徒が主体的になるプログラムを実施したい	・すでに学校でアントレプレナーシップを実施している ・ビジネスコンテストエントリーを予定しており、アイデアの更なるブラッシュアップを希望している
定員 (1校あたりの人数)	なし	10名程度 (グループで1つのアイデアを検討する場合、10組程度)
実施期間	採択決定後、お打ち合わせの上、順次～2026年2月8日（日）まで。 ※具体的な実施日時は各学校と打ち合わせのうえ決定	
所要時間	45～50分／コマ×6コマ ※2コマ／回×3回実施を基本とし、各学校の実情に合わせて協議の上決定する。	
講師	株式会社ガイアックス 起業支援とスタートアップ投資を行うスタートアップスタジオ。「若年層のアントレプレナーシップ醸成」と「起業の裾野拡大」を目的に、小学生～大学生を対象に、自治体や大学と連携したアントレプレナーシップ教育プログラムを提供。これまでの参加者は1万3,000名を超える。	

学校側の準備	・授業は全てガイアックスが行うため、学校側で準備いただくことは基本的にはありません。ぜひ生徒たちと一緒に授業に参加いただき、アントレプレナーシップ教育の魅力を感じてください。 ・スライドを投影するためのプロジェクターとスクリーン、もしくは大型モニターのご準備をお願いします。 ・講堂や体育館などで授業を行う場合はマイクのご用意をお願いします。
その他	・プログラムは学校の総合的な学習の時間または総合的な探究の時間、部活動などでの実施を想定して設計しています。 ・授業自体はアクティブラーニング形式で実施し、アイデアは生徒がそれぞれ個人で考えることを想定しています。 ・プログラムのカリキュラムや内容、実施方法などは学校と調整の上、決定します。

昨年度のプログラムの様子：



4. カリキュラム詳細

コマ	ひょうご起業ゼミ 「アイデア発想コース」	〈新設〉 ひょうご起業ゼミ 「アイデア検証コース」
事前課題 (個人の課題として扱っても、学校で授業を行ってもよい)	・個人もしくはグループごとに、関心のある社会課題や身の回りの困りごとを事前にピックアップし、初回授業に臨む。 (例) 食糧問題、高齢化社会、教育格差など <参考> ・社会課題解決中MAP (ウェブサイト) https://2020.etic.or.jp/ ・事前に提供する資料、授業動画 (生徒への展開可)	・個人もしくはグループごとに、「誰の、どんな困りごとを、どうやって解決するか」のアイデアを考え、3分間で発表できる準備をして初回授業に臨む。 ※発表資料の作成は必須ではありません。 <参考> ・社会課題解決中MAP (ウェブサイト) https://2020.etic.or.jp/ ・事前に提供する資料、授業動画 (生徒への展開可)
1	テーマ： 課題設定～その社会課題では具体的に誰がどのようなことで困っているか～ 概要： ・社会課題をビジネスの力で解決するには、具体的にどのような人々のどのような困りごとに焦点を当てる (Theory of Problem) かが重要であることを学ぶ。 ・困りごとを抱える人々が、理想とする状態に変化するプロセス (Theory of Change) を考察する。	テーマ： 壁打ち～アイデアをブラッシュアップする～ 概要： ・参加者全員 (または全組) が現時点のビジネスアイデアをプレゼンし、講師からの質問およびフィードバックを受け、今後のアクションプランを明確にする。
2	テーマ： 情報収集～その人々は本当に困りごとを抱えているのか？～ 概要： ・商品やサービスを考案する前に、将来の顧客が実際に困りごとを抱えているかを確認する必要性を認識する。 ・実際に困りごとを抱える人々へのインタビュー実施の準備を行う。 次回までの課題： ・困りごとを抱えている人5名以上を対象にインタビューを実施する。	次回までの課題： ・講師からの質問・フィードバックを参考に、アイデアをさらにブラッシュアップする。

3	テーマ： 整理・分析①～困りごとの解決策を考えよう～ 概要： ・新しいアイデアは、既存のアイデアの組み合わせに過ぎないという視点を理解する。 ・インタビュー結果を基に、具体的な困りごとと解決策を検討する。	
4	テーマ： 整理・分析②～課題解決をサステナブルに行うには～ 概要： ・お金を稼ぐ意義やその方法論を学び、マネタイズのパターンが複数存在することを理解する。 ・考案したビジネスアイデアに最適なマネタイズ方法を検討し、図解する。 次回までの課題： ・考案した商品/サービス名称を考える。	テーマ： プロトタイプ開発・価値検証～自分のアイデアには価値があるか～ 概要： ・価値検証の意義と具体的手法を学び、自らのビジネスアイデアに対して、どのようなプロトタイプを作成し、どのように検証を行うべきかを理解する。 ・実際にプロトタイプの作成を開始する。 次回までの課題： ・プロトタイプを完成させ、これを用いて価値検証を実施する。 ・検証結果を踏まえ、アイデアとプロトタイプをさらに改善する。 ・ここまでの成果を資料にまとめ、3分間でプレゼンできる準備を行う。
5	テーマ： まとめ・表現①～プレゼンのコツ～ 概要： ・起業家は、アイデア創出後にピッチを実施する必要があることと、具体的なプレゼンテーションのコツを学ぶ。 ・今回のプログラムで考案したアイデアを発表するための原稿など、準備する。	
6	テーマ： まとめ・表現②～想いを伝える～ 概要： ・小グループにて、今回のプログラムで考案したアイデアを発表し、グループ内の他メンバーがフィードバックを行う。 ・参加者が少ない場合は、講師が直接フィードバックを実施する。 ・今後、活動を継続する際の選択肢（例：ビジネスコンテストへのエントリー、兵庫県が実施する他のプログラムへの参加など）を知る。	テーマ： ピッチ～想いを伝える～ 概要： ・全員（または全組）が、ブラッシュアップ済みのアイデアと検証結果を基に資料を作成し発表、講師からフィードバックを受ける。 ・今後、活動を継続する際の選択肢（例：ビジネスコンテストへのエントリー、兵庫県が実施する他のプログラムへの参加など）を知る。

5. 使用言語

日本語

6. 採択校数

10校程度（アイデア発想コース、アイデア検証コース合わせて）

※令和6年度に採択された学校の応募も可能です。

※アイデア発想コース、アイデア検証コース両方への応募は出来ません。

7. 参加費用

無料

8. 実施会場

各学校が指定する場所（学校の教室や講堂、体育館などを想定）

9. 実施スケジュール

開始：採択決定後、お打ち合わせの上、順次

終了：2026年2月8日（日）

※具体的な実施日時は各学校と打ち合わせのうえ決定します。

10. 募集期間・応募方法

項目	詳細
募集期間	2025年4月21日（月）～2025年5月23日（金）17時まで
応募方法	各学校の環境に合わせて、下記のいずれかのフォームよりお申し込みください。 ▼Microsoft Forms https://forms.office.com/r/RH0pbJxSKt ▼Googleフォーム https://forms.gle/eAbidSEJJjpdNGzH9 ※お申し込みフォームの記入項目一覧は別紙をご参照ください。 ※お申し込みの際は、必ず所属長に確認の上、お願いいたします。 ※生徒による応募は受け付けません。

11. 審査方法および選考基準

応募多数の場合は兵庫県・教育委員会・ガイアックスで調整の上、下記ポイントを総合的に判断して導入校を選考します。

ポイント	観点
エリア	摂津（神戸阪神）・播磨・但馬・丹波・淡路といった各地域でバランスよく実施できるようにする
設置者	国公立・私立でバランスよく実施できるようにする
学校種	中学生・高校生にバランスよく実施できるようにする
プログラム	「アイデア発想コース」「アイデア検証コース」でバランスよく実施できるようにする
参加予定人数	できるだけ多くの生徒が参加できるようにする
応募理由	スタートアップチャレンジ甲子園、高校生ビジネスプラン・グランプリ等のビジネスプランコンテストへのエントリーに、より繋がる学校を優先する

12. 採択校の発表について

採択結果は2025年5月30日（金）までに全ての応募者に対してメールで通知します。

※なお、評価の結果等についての問い合わせには応じられません。

13. アンケートへの協力依頼

プログラム前後やプログラム中、プログラムの改善や効果検証のために採択校の生徒や教職員を対象にしたアンケートやヒアリングにご協力いただくことがあります。

14. 問い合わせ

運営事業者：株式会社ガイアックス (venture-seminar@gaiax.com)

担当：スタートアップスタジオ事業部 マネージャー・起業家教育事業 責任者 吉川 佳佑